

ふくろう販売では受注同時発注、売上同時仕入という機能が実装されています。

■ 概要

- 受注同時発注とは …… 新規受注伝票登録すると、同一明細内容にて新規発注伝票を開き、発注処理も連続で処理することができます。
- 売上同時仕入とは …… 新規売上傳票登録すると、同一明細内容にて新規仕入伝票を開き、仕入処理も連続で処理することができます。

ー メリット ー

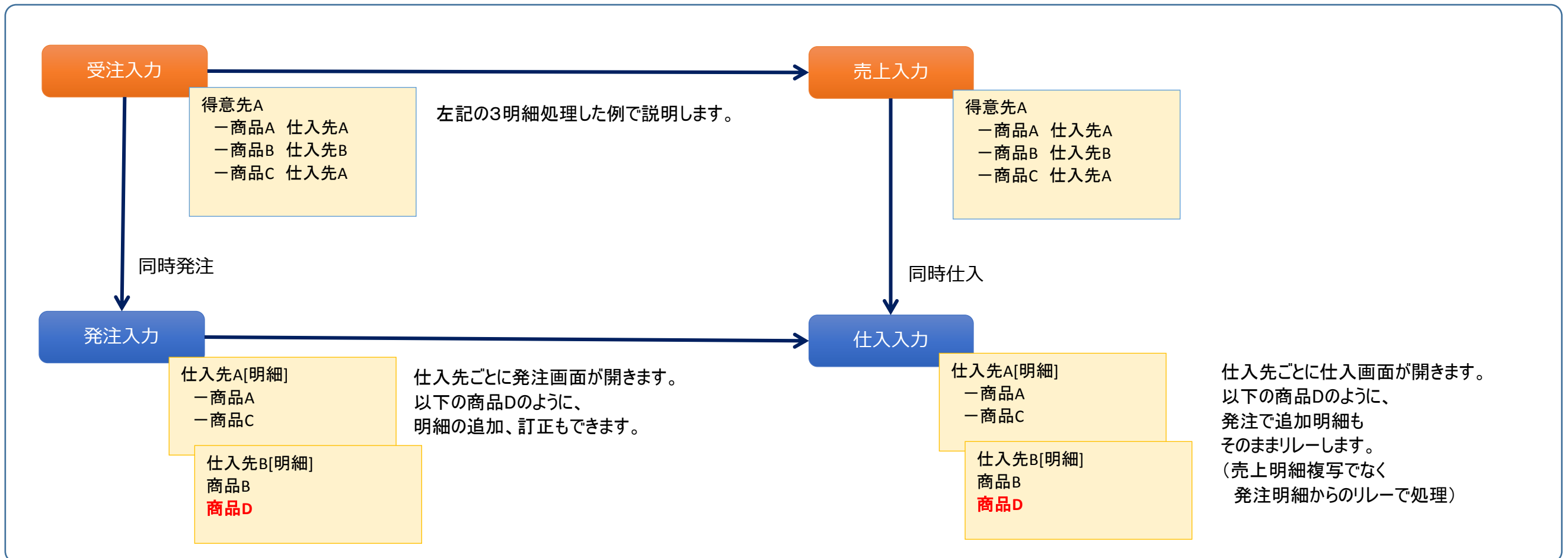
受注と発注、売上と仕入それぞれ2度入力の手間を省き運用負担を軽減し、また、入力ミスを防止します。  
 受注同時発注で処理した場合、受注Noに対する売上、発注、仕入が紐づくようになり、受注No別の粗利が集計できます。(受注No別原価管理)  
 受注と発注、売上と仕入の明細内容は完全に一致する必要はありません。行追加や各値の訂正は自由に処理できます。

ー 注意点 ー

受注、売上の処理担当と発注、仕入の処理担当が異なるような運用形態では利用できません。  
 発注や仕入が受注より先行するような業務形態では利用できません。(発注からの同時受注は不可)  
 LOT管理対象の商品は、「売上同時仕入」ができません。先に仕入入力を行う必要があります。  
 ただし直送取引のように、自社在庫として管理する必要がない場合は、売上同時仕入が可能です。その場合は売上傳票の明細項目、「直送」にチェックをつけて伝票を更新します。

■ 処理の流れ、データの紐づき

以下例のように受注同時発注から売上同時仕入と流れるのが通常の流れとなります。  
 この場合、すべてのデータが同じ受注Noで紐づきされますので、受注No単位で 受注(売上)金額 - 仕入金額 = 粗利額 の集計が可能となります。



■ 受注同時発注の基本的な流れ

例： 受注伝票にて3明細入力し、1、2行目の仕入先には「カピバラ商会」、3行目の仕入先には「アンデス」を指定します。

受注の明細行ごとに仕入先が指定すると、同時発注の対象となります。当例では1、2行目が「カピバラ商会」、3行目が「アンデス」となっています。

伝票登録

伝票登録時に同時発注をするかの確認メッセージが表示されます。 ※ここで「いいえ」を選択し、後から発注することも可能です。その場合、発注画面で受注NO指定してリレー処理もできます。「はい」押下で1件目の仕入先への同時発注入力画面が開きます。

受注明細の仕入先で「カピバラ商会」が指定されていた行のみが複写されます。発注単価は仕入先が採用する仕入単価が表示されます。発注時に数量や単価の変更も可能です。

伝票登録

更新すると、2件目(アンデス)への同時発注入力の画面が開きます

伝票登録  
更新すると、2件目への同時発注入力の画面が開きます

行No	受注No	伝区	商品コード	品名2	倉庫コード	倉庫略名	明細納期	発注数量	種別	単位	発注単価	発注金額
1	84640	掛発注	N31				2017/07/20	200.0		個	7.0	1,400
2		掛発注	8888				2017/07/20	1.0		式	500.0	500

受注明細の仕入先で「アンデス」が指定されていた明細行が複写されます。

左記2行目のように受注時になかった明細を追加することができます。当伝票の登録にて、同時発注処理は終了となります。

■ 売上同時仕入の基本的な流れ

次に、先ほど登録した受注伝票に対する払い出し(リレー入力)のため、売上傳票を新規追加する場合の例です。

行No	受注No	伝区	商品コード	品名2	倉庫コード	倉庫略名	売上数量	種別	売上原単価	売上原価	備考	仕入先コード	仕入先略名
1	84640	掛売上	0102		0000	共通倉庫	500.0		10.0	5,000			カピバラ商会
2	84640	掛売上	A00005		0000	共通倉庫	30.0		150.0	4,500			カピバラ商会
3	84640	掛売上	N31				200.0		7.0	1,400			アンデス

受注Noにはリレー売上計上する受注NOを指定します。

基本情報や明細行の内容は受注伝票が複写されリレーされます(摘要は除く)。各情報の修正も可能です。行追加・削除や分納(数量を変更)も可能です。

伝票登録

受注同時発注のときの同様に同時仕入するか確認されます。(ここで「いいえ」を選択し、後で仕入入力から発注No指定で仕入することもできます。)

「はい」選択

最初に「カピバラ商会」に対する仕入入力画面が開きます。

仕入入力

同時仕入入力

伝票指定  
 仮伝票No 103431 発注No 59979 受注No 84640 税処理区分 支払時外税

仕入先 0818 カピバラ商会

基本情報  
 仕入計上  計上  
 仕入日 2017/07/20 支払締日 2017/07/31  
 担当者 9999 管理者 事業所 本社 生産No  
 住所 TEL FAX  
 件名 ご担当者名 様  
 現掛区分  掛  前払

明細情報

行No	削除	発注No	伝区	商品コード	品名2	倉庫コード	仕入数量	種別	仕入単価
		発注行No	入荷	品名		倉庫略名		単位	
1	<input type="checkbox"/>	59979	掛仕入	0102		0000			
		1 全数		セルロース繊維		共通倉庫	500.0	束	10.0
2	<input type="checkbox"/>	59979	掛仕入	A00005		0000			
		2 全数		カーベッド		共通倉庫	30.0		150.0

この場合、複写されるのは、売上傳票の明細ではなく、同一受注Noでかつ同一仕入先をデータにもつ発注伝票の明細となります。

伝票登録

次に「アンデス」に対する仕入画面が開きます。

仕入入力

同時仕入入力

伝票指定  
 仮伝票No 103432 発注No 59980 受注No 84640 税処理区分 伝票毎外税

仕入先 12345 アンデス株式会社

基本情報  
 仕入計上  計上  
 仕入日 2017/07/20 支払締日 2017/07/31  
 担当者 0002 大阪太郎 事業所 本社営業 生産No  
 住所 TEL FAX  
 件名 ご担当者名 様  
 現掛区分  掛  現金  前払

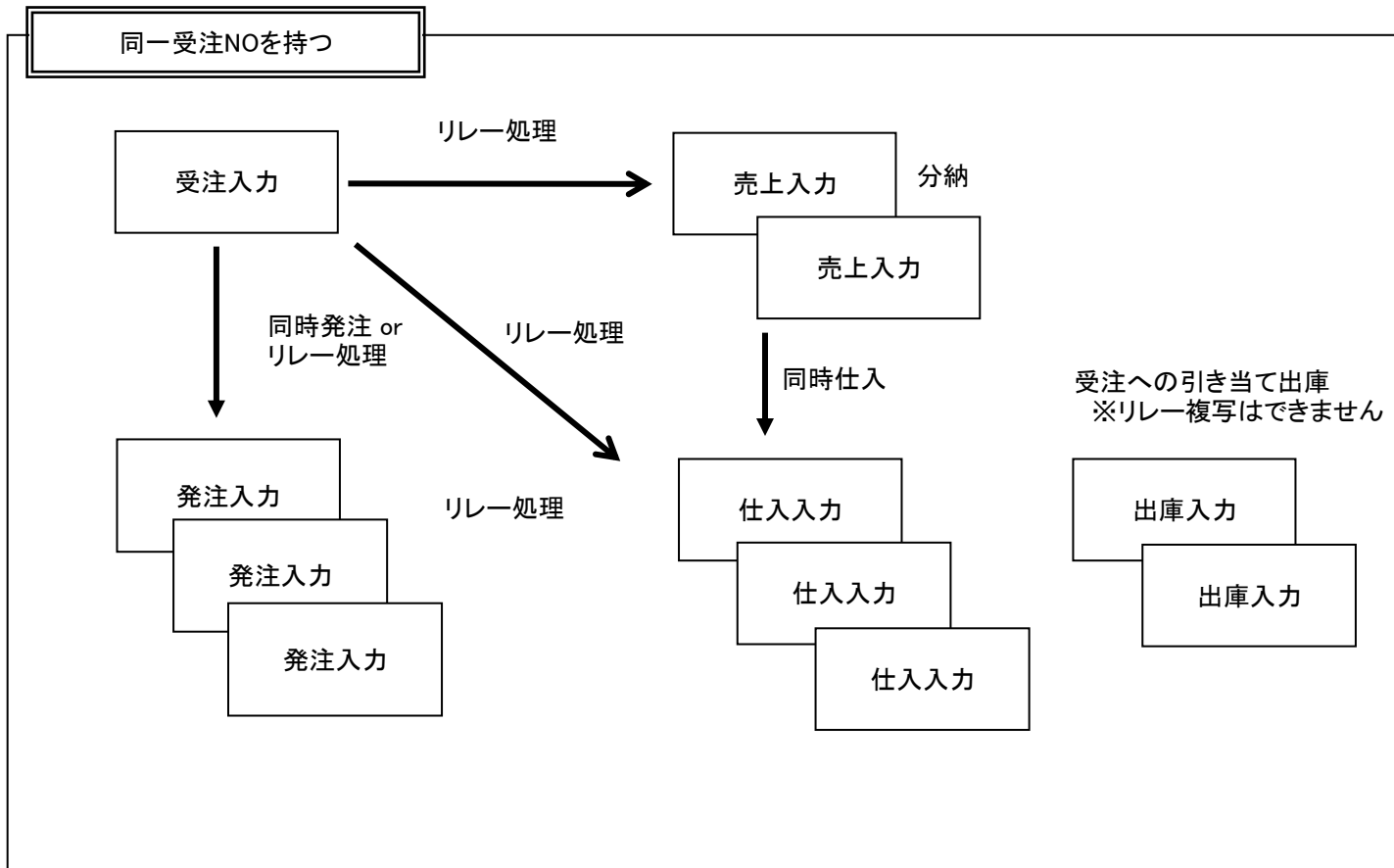
明細情報

行No	削除	発注No	伝区	商品コード	品名2	倉庫コード	仕入数量	種別	仕入単価
		発注行No	入荷	品名		倉庫略名		単位	
1	<input type="checkbox"/>	59980	掛仕入	N31					
		1 全数		マット			200.0	個	7.0

売上傳票にて指定されていた受注Noからリレーされた発注伝票より、仕入先が「アンデス」である明細のみリレーして仕入入力画面が開きます。

■ まとめ

ふくろう販売管理では、同時発注、同時仕入処理を利用することにより、以下のように受注NOにてデータがグループ化されています。



- ・ 受注伝票の各明細行ごとに仕入先を指定できます。受注登録と同時に、指定した仕入先ごとにまとめて発注伝票を新規登録できます。
- ・ 同時発注の伝票は、受注伝票の明細が複写されますが、単価はマスタ設定に合わせて、仕入単価に切り替わります。また、伝票機能で「受注原単価を発注単価にする」をチェックOnにしている場合、受注伝票の原単価が発注伝票の単価に設定されます。
- ・ 同時発注で表示された発注伝票は修正することもできます。
- ・ 受注からリレーして売上入力した場合も、同時仕入処理できます。同時仕入で開いた仕入伝票の明細は、売上明細をコピーするのではなく、売上のリレー元となる受注Noから同時発注された、同じ仕入先に対する発注伝票の明細が複写されます。
- ・ 同時仕入で表示された仕入伝票は修正することもできます。
- ・ 受注なしで売上から入力開始した場合、売上同時仕入は受注同時発注と同じ方式で伝票複写されます。
- ・ 受注同時発注しない場合でも、新規発注入力にて受注NO指定して開始することもできます。ただし、対象となる受注の全行が同時発注済みであったり、1行でも同時発注後に仕入にリレーされている場合は受注NO指定できません。(2重発注、仕入の防止) また、仕入も同様に受注NO指定して入力開始できます。

出庫入力ではリレーや複写はできませんが受注NOを指定することができ、在庫出荷がどの受注に対する引き当てかを指定できます。(イベントレンタル版は対象外)

以上により、1受注(または売上)に対して実際に発生した仕入・出庫を全て紐付けさせることができます。受注NO別原価表では、このデータを受注Noごと、受注行Noごとに集計することで、受注案件ごとの実際原価、粗利を計算することができます。

受注No別原価表では受注Noごと、受注行Noごとに、受注:仕入、売上:仕入 で対比表が発行され粗利計算ができます。

以上が受注同時発注、売上同時仕入の基本的な流れとなります。